

炎越し計測用サーモグラフィ

- 炎越しに炉壁や材料の温度測定が可能
- 可搬性に優れ本体で動画収録も可能

炎が目のある状態の炉壁の温度測定は、一般のサーモグラフィでは炎が邪魔をして実際の炉壁温度を監視することが出来ませんでした。

炎越し測定用CPA-GF309は、炎の影響を受けない特殊波長を用いることで炉壁や炉内の材料温度を測定することが出来ます。

■ 導入効果

- ガス燃焼炉・化学ヒーター・石炭ボイラー等の常態監視
- 炉体の維持管理や保守において内部の状態を視覚的に監視することで作業効率が向上

■ 商品の特長

- 炎越しのフィルター付き（対象物温度400℃以上）
- 通常のサーモグラフィとしても使用可能（-20～1500℃）
- カメラ本体を輻射熱から保護するシールドを標準装備
- カメラ本体での動画収録が可能

■ アプリケーション例

ガス燃焼炉・化学ヒーター・石炭ボイラー等の企業

CPA-GF309



炉内の撮影画像



炎がある状態



炎越しで測定

CHINO